

変更理由書

(発注担当課：下水道施設課)

1 工 事 名 : 6-1 公共地頭方(補) 污水管渠築造工事

2 工事場所 : 上尾市大字地頭方地内

3 工 種 : 土木一式
(建設業法上の29分類)

4 変更契約内容

	変 更 前	変 更 後
工 期	令和 6 年 6 月 4 日から 令和 6 年 1 2 月 2 0 日まで	令和 一年 一月 一日から 令和 一年 一月 一日まで
契約金額 (税込)	2 7, 6 8 3, 7 0 0 円	2 6, 0 0 9, 5 0 0 円
工 事 概 要	污水管布設工(リブ付硬質塩化ビニル管 φ200mm) 137.6m 污水管推進工(鋼製さや管φ300mm、硬質塩 化ビニル管φ200mm) 20.7m 組立楕円マンホール設置工 3箇所 組立塩ビマンホール設置工 1箇所 発生土処理(第1〜3種) 41.6m ³ 発生土処理(第4種) — 管路埋戻(再生碎石) 49.7m ³ 交通誘導員 1式	污水管布設工(リブ付硬質塩化ビニル管 φ200mm) 149.7m 污水管推進工(鋼製さや管φ300mm、硬質塩 化ビニル管φ200mm) 10.2m 組立楕円マンホール設置工 2箇所 組立塩ビマンホール設置工 1箇所 発生土処理(第1〜3種) 7.6m ³ 発生土処理(第4種) 79.0m ³ 管路埋戻(再生碎石) 59.3m ³ 交通誘導員 1式

5 変更理由

○工事請負契約締結後の試掘調査の結果、次のとおり変更する。

・No. 102-1-B～No. 102-1-C 発進立坑、No. 102-1-A 到達立坑について水道管φ150(A形)が当初想定よりも計画下水道管側に寄って埋設されており、立坑内に推進機を設置する幅が確保できず、推進工法が困難となったため、開削工法に変更する。

また、No. 102-A～No. 102-B 発進立坑位置及び No. 102-C 到達立坑位置について開口部に敷鉄板を設置しバリケード等で保安を行う際に、保安施設が店舗出入り口にかかってしまうため、発進立坑及び到達立坑位置を変更する。(污水管布設工(リブ付硬質塩化ビニル管φ200mm) +12.1m、
污水管推進工(鋼製さや管φ300mm、硬質塩化ビニル管φ200mm) -10.5m)

・No. 102-1MH について水道管φ150(A形)が近接しており、楕円 MH 設置の際に土留工の設置ができないため、楕円 MH から塩ビ MH へ変更する。

(組立楕円マンホール設置工 -1 箇所、組立塩ビマンホール設置工 1 箇所)

・地下水位より下の土質が悪く、改良土プラントより、第1種～第3種建設発生土としての受け入れが困難である旨の回答があったため、地下水位より下の発生土について、第4種建設発生土として処理することとし、変更する。(発生土処理(第1〜3種) -34.0m³、発生土処理(第4種) 79.0m³)

・地下水位が高く、湧水量も多いため、改良土では水分を含んでしまい十分な転圧が困難であり、仮復旧後に舗装が下がってしまう恐れがあるため、地下水位以下の埋戻し材を湧水の影響をうけづらい再生切込碎石に変更する。(管路埋戻(再生碎石) 9.6m³)

・No. 102-1-1～102-1 区間において、隣接する飲食店の駐車場があり、車両の出入りが頻繁にあることから、飲食店から出入りを規制した場合、搬入車両及びお客の車両誘導を実施してほしいと要望を受けた。No. 102-A～102-C の店舗前推進区間においても、店舗の駐車場があり、車両の出入りが頻繁にあること、また、バス停が近接していることから安全確保のため、交通誘導員を増工する。

以上により、減額変更する。